

マッチングアプリの利用実態と要注意人物に関するアンケート調査

調査概要

項目	内容
調査名	マッチングアプリの利用実態と要注意人物に関するアンケート調査
調査主体	当サイト独自調査
調査対象	マッチングアプリの利用経験がある全国の男女
調査期間	2026年3月15日～2026年3月29日
調査方法	インターネット調査(クラウドソーシングサイトを利用)
調査人数	300名
調査対象者 性別	男性150名、女性150名
調査対象者 年齢	18歳～40代以上
調査対象者 地域	全国

※本調査は当サイト独自調査です

アンケート調査結果

Q1. あなたの年齢を教えてください。(単一選択)

選択肢	回答数	割合(%)
18～24歳	69名	23.0%
25～29歳	96名	32.0%
30～34歳	75名	25.0%
35～39歳	42名	14.0%
40歳以上	18名	6.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

利用者の中心層は25～29歳(32.0%)となり、次いで30～34歳(25.0%)、18～24歳(23.0%)と続く結果になりました。

20代から30代前半で全体の約8割を占めており、結婚や真剣な恋活を意識し始める世代がマッチングアプリを最も活発に利用している実態が読み取れます。

幅広い年代が利用していますが、若年層ほどアプリでの出会いが一般的になっていると言えます。

Q2. これまでに最もよく利用したマッチングアプリはどれですか？

選択肢	回答数	割合(%)
Pairs(ペアーズ)	105名	35.0%
with(ウィズ)	69名	23.0%
tapple(タップル)	54名	18.0%
Omiai	42名	14.0%
Dine	15名	5.0%
その他・上記以外	15名	5.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

王道のPairs(ペアーズ)を中心に、内面重視のwith(ウィズ)、気軽な出会いを求めるtapple(タップル)などに利用者が分散しています。

それぞれのアプリが持つ特徴や強みが異なるため、自身の目的や年齢層に合わせてアプリを使い分けている利用者が多いことが伺えます。

また、真剣度の高いOmiaiなど、用途に応じた選択が定着しています。

Q3. 遭遇した要注意人物(男性)の特徴はどれですか？(複数選択)

選択肢	回答数	割合(%)
すぐに会いたがる・ホテルに誘う	108名	36.0%
投資やビジネスの勧誘をしてくる	36名	12.0%
プロフ写真が不自然にイケメン	27名	9.0%
既婚者や恋人がいる疑いがあった	24名	8.0%
男性の要注意人物には会っていない	105名	35.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

男性の要注意人物に関する特徴としては、「すぐに会いたがる・ホテルに誘う(体目的)」が36.0%と最も多い結果となりました。

真剣な出会いを装いながら、実際には遊び目的で近づいてくるケースが後を絶ちません。

また、既婚者が独身と偽って紛れ込んでいるケースや、ビジネス勧誘目的のユーザーも一定数存在するため、女性側は相手のペースに流されない警戒が必要です。

Q4. 遭遇した要注意人物(女性)の特徴はどれですか？(複数選択)

選択肢	回答数	割合(%)

外部サイトや別アプリへ誘導する	63名	21.0%
投資や仮想通貨の話を持ちかける	54名	18.0%
プロフィールが過度に露出度高め	33名	11.0%
初回デートで高額な食事を要求	27名	9.0%
女性の要注意人物には会っていない	123名	41.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

女性の要注意人物の特徴では、「外部サイトや別アプリへの誘導(業者)」が21.0%、「投資や仮想通貨の勧誘」が18.0%と、金銭的利益を目的とした手口が目立ちます。

また、初回のデートで不自然に高額な飲食店を指定してくる「ぼったくり・メシモク」の被害も確認されています。

過度に露出の多い写真や、すぐにLINEを交換したがる不自然な女性には注意が必要です。

Q5. 危険な人物を見分けるために最も重視するポイントは？

選択肢	回答数	割合(%)

メッセージの言葉遣いやペース	93名	31.0%
プロフィール写真に違和感がないか	84名	28.0%
自己紹介文が具体的で自然か	69名	23.0%
本人確認や各種証明の有無	36名	12.0%
会う場所や時間帯の提案内容	18名	6.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

危険人物を見分けるポイントとして、「メッセージの言葉遣いやペース(31.0%)」が最も重視されています。

会話が噛み合わない、すぐに連絡先を聞いてくるなどの違和感は、業者や危険人物のサインとして認識されています。

次いで「写真の違和感(28.0%)」「自己紹介文の自然さ(23.0%)」と続いており、プロフィールとやり取りの両面から慎重に相手を見極める姿勢が伺えます。

Q6. 要注意人物を回避するために取った行動は何ですか？

選択肢	回答数	割合(%)

少しでも違和感があればブロック	111名	37.0%
LINE等個人の連絡先は教えない	87名	29.0%
初回デートは昼間のカフェにした	63名	21.0%
会う前に電話やビデオ通話をした	21名	7.0%
怪しいURLは絶対に開かなかった	18名	6.0%
合計	300名	100.0%

【解説】

具体的な回避策としては「少しでも違和感があればブロックする(37.0%)」という防衛策が最多でした。

また、「アプリ外の個人の連絡先をすぐに教えない(29.0%)」「初回デートを昼間のカフェなど安全な状況に設定する(21.0%)」など、個人情報の保護と密室を避ける行動が徹底されています。

危険を感じたら無理をせず、すぐに関係を断つことが最大の自己防衛に繋がります。